



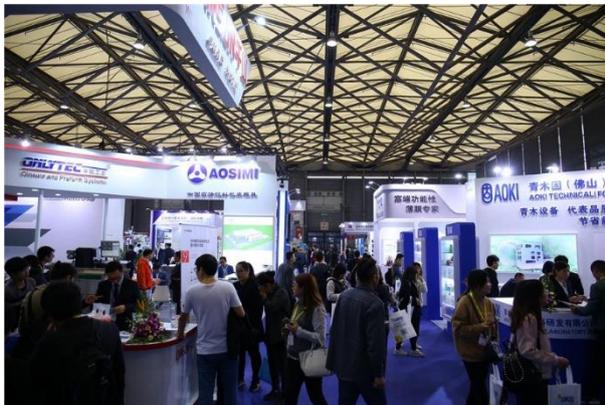
**interpack  
alliance**  
MADE FOR TOMORROW

## MDJ ファイナル・レポート swop 2017 上海国際加工・包装産業総合展

2017年11月23日

### とどまることを知らないイノベーションが一堂に 第2回上海国際加工・包装産業総合展は、大盛況裡に終了

アジアを牽引する加工・包装産業展 swop は、その初回開催以来、特に出展者から大きな注目を浴びてきた。そして、2017年11月7日～10日に行われた第2回目に、HP、Multivac、RPCをはじめ、中国内外の加工・包装産業をリードするおよそ600社が出展、中国はもとより、日本、米国、インド、韓国、ベトナム、マレーシア、ロシアなど、約80の国と地域から20,053人の業界関係者が上海新国際博



覧中心(SNIEC)を訪ね、最先端のイノベーション技術を把握し、包装市場の情勢について学んだ。

4日間にわたる本展を主催したのは、メッセ・デュッセルドルフ・上海(MDS)、そして雅式集団(Adsale Group)で、取り上

げるテーマ、併催プログラム、展示品の実演のどれに関しても、swop 2017は初回開催に比べ、イノベーションにより焦点をあてた。特に、中国で初開催となった《SAVE FOOD》、そして、さらなる進化を見せた《FMCG Future Zone(日用品包装の未来)》エリアは、広く評価された。

『都市化の加速と、中間層の消費水準上昇が、現代的な加工・包装に対する需要を、中国でも高めてきている。4つのエリアと革新的なテーマからなるswopは、最も進んだ技術と着想のための、ワンストップのビジネスの場である。』と語るのは、メッセ・デュッセルドルフ代表取締役 H. W. ラインハルトだ。

『swop が、世界最高峰の加工・包装産業専門メッセ interpack を旗艦プロジェクトとする interpack alliance に属しているおかげで、その内容と優位性が世界の関連業界に浸透し、より多くの関係者を惹きつけたことは、疑う余地がない。』とは、メッセ・デュッセルドルフで加工・包装産業メッセを統括する B. ヤブロノフスキーのコメントである。

『swop 2017 開催にあたり、包装資材製造・加工、一次・二次包装、ロジスティクス・電子商取引包装から梱包材・包装容器に至るまで、加工・包装の全バリューチェーンが一堂に会するよう、注力した。また、中でも関連が深い、食品、飲料、パン、菓子、化粧品、医薬品、非食品(消費財)、工業製品の 8 業界に対し、サービスも充実させた。これらの努力と実現により、swop は、全バリューチェーンが網羅された全く初めての、そして真剣に投資が検討される場となっている。』と、雅式集団 (Adsale Group) の朱裕倫 (Stanley Chu) 董事長が回顧した。

## 出展製品に見るイノベーション： インダストリー4.0、デジタル、持続可能性

『Made in China 2025』計画の後、インテリジェント包装製造が時代の流れとなり、出展者の大半がそれを具体化した。例えば、インテリジェントソフトウェアの機械との接続は、個別の需要に関し、より適切な対応を可能にする。swop 2017 では、持続可能な開発という切り口の展示が、あらゆるところで見受けられた。多くの企業は、包装資材をさらに薄く、資源消費をできる限り抑えるなど、製造工程の改善に努めた製品・技術・ソリューションを、明確に示した。加えて、環境配慮型の包装資材も、重要なトレンドのひとつだった。

## 中国に SAVE FOOD がデビュー、素晴らしい成果を生み出す

国際連合食糧農業機関 (FAO) と、interpack を主催するメッセ・デュッセルドルフが立ち上げた SAVE FOOD は、発足後のこの 6 年間で、関連の産業界、協会、非政府組織 (NGO)、研究機関など、会員数 850 を超える、広範な国際的組織へと成長した。今回の swop 2017 では、W2 号館に SAVE FOOD 特別展が設けられたほか、会期 2 日目には国際サミットも開催された。FAO で、中国・北朝鮮の代表を務める V. マルタン氏が会議に招かれ、『イノベーションと協調で、食品ロスを世界的に低減』というタイトルで、講演した。同氏は、『アジア太平洋地域における、適切かつ持続可能な包装ソリューションの不足は、食品ロスの主な原因のひとつである。食品ロス低減を実現するうえで、包装は極めて重要な役割を果たす。』と指摘した。『そのためには、食品産業と包装産業は、緊密に協働しなければならない。』中国にデビューした SAVE FOOD 国際サミットは、食品産業から 200 名に近い関係者を惹きつけ、非常に高い評価を得た。



特別展示エリアでは、Multivac が、皮膚層と同程度の強固さで、製品の表面にフィルムを張りつけ、元来の製品の形を保持する、特に新鮮な肉の包装に適した新製品、《MultiFresh》スキンパッケージを出展した。また、TOMRA Sorting は、高速かつ資源効率が良い選別技術を通じて、どのようにロスを低減し、コストを抑え、食品会社の収益性を改善するか、を示した。米国企業 MOCON、

廈門長塑実業(Xiamen Changsu)、北京鑾彩(Beijing Lantsai)は、包装の改善と、食品保存可能期間の拡大という観点から、MAP 包装検査機器、ハイバリア BOPA、スマートラベル、そしてその他関連する最先端の製品・技術を紹介した。

## 包装資材に見るイノベーション： 進化した FMCG Future Zone が沸騰



加工・包装機械・機器に比べ、包装デザイン・資材は、より短いイノベーションサイクルが特徴だといえる。そのため業界は、包装資材・製品に対し、強い関心を抱いている。それが如実にあらわれたのが、前回の《Packaging Materials and Products Zone (包装資材・製品ゾーン)》の進化版である《FMCG Future Zone (日用品包装の未来)》の沸騰ぶりだ。

同エリアは、W3 号館の 10,000 m<sup>2</sup>に、さまざまな包装資材・製品をあつかう、中国内外のメーカー 200 超もの優良企業が集結、最先端の製品を発信し、詰めかけた多くの来場者と熱のこもった商談を行った。例えば、RPC 社は、缶飲料向け統合ソリューション WaveGrip、そして出先で食せる包装ソリューション EasySnacking を展示、Berry Plastics 社は、食品、飲料、パーソナルケア、医療産業に適した包装製品で、ハイバリア、軽量化、環境保護、包装におけるカスタマイズなどの、トレンドを示した。また、中国最大の紙包装メーカーである深圳裕同 (Shenzhen Yutong) は、功夫茶 (Kung Fu Tea) や瀘州老窖 (Luzhou Laojiao) といった最高級ブランド専用の特製箱を出展し、高評価を獲得した。本エリアの主催は、日用品をあつかう 500 超の会員企業が交流する草分け的な業界団体『包装之家 (Packaging Family)』で、この会期中に、swop の主催者と、戦略的協力関係締結に至っている。



## テーマに見るイノベーション： 併催イベント・会議に対し、高い関心度

メッセ会期中、食品加工、スマート包装、環境配慮型包装、包装デザイン・イノベーション、電子商取引・ロジスティクス包装といったテーマをカバーする、大規模かつ多角的、そして専門的なフォーラムが同時に開催された。それぞれ雰囲気も良く、多数の参加があり、『フォーラムのテーマが新鮮で、良質だった。』と振り返る人が、非常に多く見受けられた。

例えば、会期初日に行われたフォーラム『Packaging, Intelligence and Future (包装、インテリジェント、未来)』は、通路にあふれるほどの人でいっぱいとなった。2 日目の SAVE FOOD サミットは、革新的な包装を通じて、食品保存可能期間をいかに拡大させることができるか、に関心を持つ食品産業から、およそ 200 名もの関係者が参加した。また、世界のホイル製造の 5 割超を占める企業が集結する、世界アルミ箔製造者協会 (GLAFRI) の会合が、swop 会期中に開かれた。中国アルミ箔製造会員と、その顧客であるアルミニウム容器メーカーらが、成長する中国の包装市場で、存在感をさらに増す機会について、白熱した議論を展開した。さらには、包装之家 (Packaging Family) が主催し

たセミナーが、会期中の午後、毎日行われた。優れた講演が、Beiersdorf、Danone、Johnsonをはじめ、名が知れ渡った包装企業からの専門家によってなされ、参加者から拍手喝采をあげた。

出展者に、質の高い潜在的な買い手、あるいは製品導入決定に関わる来場者と出会っていただくため、swop 2017 を視察にやって来たおよそ 100 もの視察団と、ビジネスマッチングプログラムがアレンジされ、出展者から高く評価された。

## swop 2019

次回の swop は、2019 年 11 月 25 日(月)～28 日(木)に、上海新国際博覧中心(SNIEC)にて開催される。取りあつかう革新的なテーマと、それに伴ったホール構成は、適時発信される。

『swop』、ならびに『interpack alliance』に関する情報・お問い合わせは、[\(株\)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン](#)、あるいは[日本語ウェブサイト](#)をご覧ください。

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：橋木 雅弘

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

TEL.: 03-5210-9951

ニューオータニ ガーデンコート 7F

FAX: 03-5210-9959

